

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調査(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	無	応募総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

文化芸術団体の概要

ふりがな	こうえきざいだんほうじん かんさいふいはーもにーかんげんがくだん			団体ウェブサイトURL
制作団体名	公益財団法人 関西フィルハーモニー管弦楽団			https://kansaiphil.jp/
代表者職・氏名	理事長			井上 礼之
制作団体所在地	〒	571-0030	最寄り駅(バス停)	京阪本線「古川橋駅」
	大阪府門真市末広町31-8 サンコオア第3ビル6階			
電話番号	06-6115-9911			
ふりがな	かんさいふいはーもにーかんげんがくだん			団体ウェブサイトURL
公演団体名	関西フィルハーモニー管弦楽団			https://kansaiphil.jp/
代表者職・氏名	理事長			井上 礼之
公演団体所在地	〒	571-0030	最寄り駅(バス停)	京阪「古川橋」駅
	大阪府門真市末広町31-8 サンコオア第3ビル6階			
制作団体 設立年月	2017年4月 ※公益財団法人移行のための一般財団法人設立年月であり、楽団発足は1970年			
制作団体組織	役職員			団体構成員及び加入条件等
	理事長1名 理事13名 評議員9名 監事1名 専務理事1名 顧問1名 楽団長1名(常務理事兼任) 事務局長1名 営業推進部長1名			「楽団員」特別契約者7名 楽員47名(オーディションにより採用) 「事務局員13名」公募により選抜
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の事業と兼任の事務担当者を置く	本事業担当者名		吉平 大作
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者		松井 清悟
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	d.yoshihira@kansaiphil.jp			

<p>制作団体沿革・主な受賞歴</p>	<p>1970年: ヴィエール室内合奏団として発足 1982年: 関西フィルハーモニー管弦楽団と改組 2003年: 特定非営利活動(NPO)法人化 2007年: 正指揮者・藤岡幸夫が首席指揮者に就任 2008年: 首席客演指揮者にオーギュスタン・デュメイが就任 2009年: 初の単独主催による東京公演(サントリーホール)を開催 2011年: オーギュスタン・デュメイが楽団史上初の音楽監督に就任 常任指揮者・飯守泰次郎が桂冠名誉指揮者に就任 2014年: 認定NPO法人化 2015年: 音楽監督デュメイと共にスイス・ドイツ・イタリアの3カ国5都市を巡る楽団初のヨーロッパツアーを実施 東大阪市と「文化芸術のまち推進協定」を締結 2018年: 公益財団法人化 2020年: 楽団創立50周年 門真市と「音楽と活気あふれるホームタウンパートナー協定」を締結 2021年: 2021年度音楽クリエイティブクラブ賞本賞を受賞。 2023年: 音楽監督デュメイと共にベルギー・フランス・ドイツの3カ国3都市を巡る楽団2度目のヨーロッパツアーを実施</p>										
<p>学校等における公演実績</p>	<p>●過去8年間の学校公演実績: 2016年度27回、2017年度15回、2018年度19回、2019年度21回、2020年度20回、2021年度25回、2022年度16回、2023年度18回、2024年度11回(2024年9月時点の予定)。</p> <p>●ワークショップなどの実績: 2008年度: 日本交響楽振興財団・奈良市文化振興センター主催の小学校における音楽教育プログラムとオーケストラ公演を実施。 2009～2011年度: 鳥取県主催ワークショップを実施。 2011～2012年度: 日本交響楽振興財団・姫路市文化国際交流財団主催の小学校における音楽教育プログラムで、ワークショップ(計20回)とオーケストラ公演を開催。 2015年度: 加東市教育委員会主催のワークショップを、市内小学校計11校で実施。 他、青少年との共演を定期的に開催(年間20回程度、大阪府、兵庫県、滋賀県、など各地で開催)。</p> <p>●楽器クリニックの実績: 2015年度から東大阪市教育委員会主催の文化芸術推進事業として、東大阪市内の中学校・高等学校の音楽クラブでの訪問指導を行っている。2024年までの10年間で延べ86校での実施。</p>										
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>2005年度: 広島県立盲学校 2007年度: 大阪市立西淀川養護学校、大阪市立思斉養護学校、奈良県立明日香養護学校、奈良県立奈良養護学校 2009年度: 滋賀県立長浜養護学校 2012年度: 富山県立しらとり支援学校、京都市立鳴滝総合支援学校 2014年度: 香川県立香川丸亀養護学校、高知県立高知若草養護学校 2016年度: 宮崎県立みやざき中央支援学校 2018年度: 佐賀県立中原特別支援学校 2020年度: 滋賀県立三雲養護学校 2024年度: 大阪府立平野支援学校</p>										
<p>参考資料の有無</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="327 1332 938 1400"> <p>申請する演目のWEB公開資料</p> </td> <td data-bbox="938 1332 1447 1400"> <p>有</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="327 1400 938 1467"> <p>※公開資料有の場合URL</p> </td> <td data-bbox="938 1400 1447 1467"> <p>https://youtu.be/3Zsj1eIKgTU</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="327 1467 938 1529"> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p> </td> <td data-bbox="938 1467 1447 1529"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="938 1467 1029 1500"> <p>ID:</p> </td> <td data-bbox="1029 1467 1447 1500"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="938 1500 1029 1529"> <p>PW:</p> </td> <td data-bbox="1029 1500 1447 1529"></td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/3Zsj1eIKgTU</p>	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="938 1467 1029 1500"> <p>ID:</p> </td> <td data-bbox="1029 1467 1447 1500"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="938 1500 1029 1529"> <p>PW:</p> </td> <td data-bbox="1029 1500 1447 1529"></td> </tr> </table>	<p>ID:</p>		<p>PW:</p>	
<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>										
<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/3Zsj1eIKgTU</p>										
<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="938 1467 1029 1500"> <p>ID:</p> </td> <td data-bbox="1029 1467 1447 1500"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="938 1500 1029 1529"> <p>PW:</p> </td> <td data-bbox="1029 1500 1447 1529"></td> </tr> </table>	<p>ID:</p>		<p>PW:</p>							
<p>ID:</p>											
<p>PW:</p>											

別添	あり
----	----

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 関西フィルハーモニー管弦楽団】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	オーケストラでめぐる世界一周！音楽で万国博覧会♪			
企画のねらい	<p>子ども達に音楽を通じ、世界の多様な文化を体験してもらうことを目的としています。オーケストラの演奏を通じて、世界各地のリズムやメロディ、楽器による表現の違いを感じ、異なる文化への理解と興味を深める機会を提供します。音楽は国境を越えて人々をつなげる力を持っており、このプログラムを通じて、子どもたちは文化の違いを超えて共感し合える喜びを学ぶ事ができます。</p> <p>さらに、この企画は2025年に開催される大阪・関西万博とも関連性を持っています。大阪万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」であり、世界中の知恵と文化を共有し、新しい未来を作り出す場となります。このプログラムでは、音楽を通じて万博と同様に、子どもたちが多様な文化の豊かさを体験し、未来に向けたグローバルな視点を育むことがねらいです。</p> <p>次世代を担う子どもたちが芸術と文化を通じて成長し、広い視野を持った感性豊かな人材へと成長することを願っています。</p>			
演目概要・演目選択理由	<p>スペイン、フランス、アメリカ、ロシア、ドイツ、オーストリア、そして日本。様々な国を代表する作曲家の名曲を演奏し、子どもたちに異なる文化のメロディやリズムを体験してもらいます。</p> <p>特にこのプログラムでは、日本の作曲家、芥川也寸志と外山雄三の作品が2曲含まれていることが大きな特徴です。芥川也寸志の「弦楽のための三楽章」は、現代日本の音楽文化を象徴する作品で、繊細な弦楽の響きとともに、日本の独自の音楽的美学を感じさせる名曲です。また、外山雄三の「管弦楽のためのラプソディ」は、日本の伝統音楽と西洋音楽が融合したエネルギッシュな作品で、日本の音楽の多様性を楽しむことができます。</p> <p>これら様々な国の作品を通じて、西洋から伝わり発展した自国の音楽文化の魅力を見つめるとともに、世界の音楽とのつながりを感じてもらおうことを目指しています。</p>			
児童・生徒の参加又は体験の形態	<p>■ボディーパーカッションでの共演(小学生向け) モーツァルトの「トルコ行進曲」に合わせ、小学生がボディーパーカッションでリズムを奏で、オーケストラと共に音楽を作り上げる楽しさを体験します。</p> <p>■指揮者体験コーナー(中学生向け) ブラームスの「ハンガリー舞曲第5番」を題材に、中学生が指揮者となってオーケストラを指揮します。テンポや強弱を自分で指示し、オーケストラとの協調を体験することで、指揮者の役割や音楽の作り方を学びます。</p> <p>■校歌の合唱 校歌の演奏では、児童・生徒全員が合唱に参加し、身近な音楽を共有する時間を作ります。校歌を歌うことで、音楽への親しみと自分たちの学校文化への誇りを感じる場となります。</p>			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	100～800名程度	
		鑑賞人数目安	100～800名程度 ※会場規模による	
本公演演目	<ul style="list-style-type: none"> ・ビゼー：歌劇「カルメン」第1組曲より“闘牛士” ～スペイン～ ・芥川也寸志：弦楽のための三楽章(トリプティック)より“第1楽章” ～日本～ ・J.ウィリアムズ：映画「スターウォーズ」より“ダース・ベイダーのテーマ” ～アメリカ～ ・ドビュッシー：「子供の領分」より“ゴリウォーグのケーキウォーク” ～フランス～ ・チャイコフスキー：バレエ音楽「くるみ割り人形」より“花のワルツ” ～ロシア～ <p>---休憩15分---</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベートーヴェン：交響曲第5番ハ短調より“第1楽章” ～ドイツ～ ・モーツァルト：トルコ行進曲(小学生向け/ボディーパーカッションで共演！) ～オーストリア～ ・ブラームス：ハンガリー舞曲第5番(中学生向け/指揮者体験コーナー！) ～ハンガリー～ ・外山雄三：管弦楽のためのラプソディ ～日本～ ・校歌 ・アンコール/J.シュトラウスⅠ世：ラデツキー行進曲 ～オーストリア～ ※曲間には楽器紹介コーナーを挟みながら進行いたします。 <p>※別添資料有り</p>			
		公演時間	90	分

<p>出演者</p>	<p>指揮:未定 司会:空井仁美(予定) 管弦楽:関西フィルハーモニー管弦楽団(編成10型2管)</p>					
<p>演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3名程度/名</p>	<p>関西フィルハーモニー管弦楽団 プロフィール 2020年に楽団創立50周年を迎えた。A.デュメイ音楽監督のもと、首席指揮者・藤岡幸夫、首席客演指揮者・鈴木優人と共に常に新たな挑戦を続けている。 BSテレ東の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜8:30～)に藤岡幸夫と共に出演中。 2015年には、楽団初のヨーロッパツアーを開催。2023年10月にも、ベルギー・フランス・ドイツの3カ国3都市を巡る2度目のヨーロッパツアーを開催し、各地で大きな注目を集めた。</p>					
<p>本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む</p>	<p>出演者: 64 名 スタッフ: 7 名 合 計: 71 名</p>			<p>運搬</p>		<p>積載量: 4 t 車 長: 9 m 台 数: 2 台</p>
<p>本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安</p>	<p>前日仕込み 無</p>		<p>前日仕込み所要時間</p>		<p>時間程度</p>	
	<p>到着</p>	<p>仕込み</p>	<p>上演</p>	<p>内休憩</p>	<p>撤去</p>	<p>退出</p>
	<p>8:45</p>	<p>8:45-10:30 ※リハーサル11:30-12:00</p>	<p>13:30-15:00</p>	<p>15分間</p>	<p>15:00-16:45</p>	<p>17:00</p>
<p>※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。</p>						
<p>本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</p>	<p>6月</p>	<p>7月</p>	<p>8月</p>	<p>9月</p>		
	<p>5日</p>	<p>4日</p>	<p>0日</p>	<p>8日</p>		
	<p>10月</p>	<p>11月</p>	<p>12月</p>	<p>1月</p>		
	<p>5日</p>	<p>0日</p>	<p>4日</p>	<p>0日</p>		
	<p>※平日の実施可能日数目安をご記載ください。</p>			<p>計</p>	<p>26日</p>	



体育館舞台とフロアを使用します。

【舞台設置に必要な面積】

フロア（間口：16m以上 奥行：9m以上）

ステージ上（間口：8m程度 奥行：4m程度）

【その他】下記備品のご用意をお願いいたします。

- ・MC用マイク2本（ワイヤレス）
- ・演奏者用パイプ椅子約110～120脚
- ・校内移動用のスリッパ約70足
- ・控室として、小部屋2室、大部屋2室（男女各30～35名程度）



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当あり	該当コンテンツ名	・芥川也寸志:弦楽のための三楽章 (トリプティック) より“第1楽章” ・外山雄三:管弦楽のためのラプソディ
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	採択後手続き予定
		毎曲ごとに異なる		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 関西フィルハーモニー管弦楽団】

ワークショップのねらい	<p>本公演への興味を高めることを目的として、以下の点を重視しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本公演をより楽しむための知識を、自然に楽しく学べる内容にすること。 ●共演に向けた指導を通じて、児童・生徒が自発的にコンサートの準備を行い、一度きりの共演がより特別なものになるような環境を整えること。 ●プロの演奏家による生の音楽を直接体験することで、机上の学習や映像では得られない説得力を持って音楽の楽しさを伝えること。 <p>また、楽器の説明や作曲家の背景、国の文化を学ぶことで、音楽がどのような思いで作られたのかを想像しながら、より豊かな感性で楽しめる工夫を施します。</p> <p>本公演で音楽系クラブと共演する予定の学校では、ワークショップの一環として実技指導を行います。全体指導に加え、パートや個人ごとの指導を行うことで、技術向上だけでなく、児童生徒と奏者のコミュニケーションを深めます。他の児童生徒が見学できるよう要望に応じた対応も可能です。このワークショップを通じて、合奏の楽しさに目覚め、新たに入部する児童生徒が出てくることもあり、非常に効果的です。</p>		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	30人～800名 ※WS会場に対して人数が多い場合は、2回公演実施させていただきます。
ワークショップ実施形態及び内容	<p>各学校とのヒアリングを通じて、以下の①②を時間配分を調整しながら実施します。 例えば、「全学年:45分×2コマ」、「1-3年:45分、4-6年:45分」、または「全学年:45分、吹奏楽部指導:45分」など、各学校の要望に応じて柔軟に対応します。</p> <p>① ミニコンサート型ワークショップ 弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器の奏者2名～5名で編成されたアンサンブルによる演奏を、トークを交えながら楽しんでもらいます。どの形態でも、楽器の紹介や音の出る仕組みをわかりやすく説明しながら演奏を行います。 説明の際にはプロジェクター※を使用し、視覚的にも理解しやすい工夫を取り入れ、それぞれの楽器群の特徴や音の出る仕組みを事前に学習します。この事前学習により、本公演への期待を高める狙いがあります。また、「楽曲の紹介」「楽器体験コーナー」「手拍子や打楽器による共演」「質問コーナー」などもプログラムに取り入れています。 ※学校のプロジェクターを借用させていただきます。</p> <p>【企画例】 デュオ演奏: ヴァイオリン1名とピアノ1名によるデュオ。 ※ジョージア出身の外国籍コンサートマスターによる実演及びレクチャー 弦楽四重奏 木管五重奏 金管五重奏 ※これらのアンサンブルは一例であり、学校の要望に応じてさまざまな編成での演奏が可能です。</p> <p>② 本公演での共演に向けた演奏指導・楽器クリニックの実施 吹奏楽部や弦楽部等の児童・生徒を対象に、専門的な演奏指導を行います。指導経験豊富な奏者が実演を交えて指導を行うことで、実践的・的確な技術指導が可能です。</p> <p>ワークショップの実施形態を問わず、オーケストラ本公演に向けて、子どもたちが効果的にオーケストラや音楽の知識を深め、実際の演奏に触れることで、より理解を深める内容となります。楽器紹介を通じて、音楽の魅力やオーケストラの役割を学び、本公演に対する期待と興味を高める学習の場を提供します。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>①ミニコンサート型ワークショップ 体育館もしくは音楽室にて行います。 プロジェクター・ワイヤレスマイクのご用意をお願いいたします。 場合によってはピアノの移動をお願いする場合がございます。</p> <p>②演奏指導、楽器クリニックの実施 放課後、部活動の時間に合わせて行います。 重点的に指導を希望する曲やパートがあれば、事前にご相談ください。</p>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
本事業への応募理由	【公演団体名 関西フィルハーモニー管弦楽団】
<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢 関西フィルハーモニー管弦楽団は、音楽を通じて心の豊かさと安らぎを提供することに、強い使命感を抱き、演奏活動に励んでいます。特に青少年向けの活動は、最も重要な柱として位置づけています。 地方都市を訪れる際には、地元の皆様との共演やコミュニケーションを大切にした演奏会を実施し、地域の音楽文化の振興に貢献しています。私たちは、音楽を限られた人々のための娯楽にとどまらず、より広いファン層を育むことにも注力しています。長年にわたり、数多くの青少年向け公演を通じて培った経験を活かし、毎年全力でこの事業に取り組んでいます。 プロオーケストラの生演奏は、子どもたちにとって貴重な体験です。CDやDVDでは味わえない生の迫力や感動を直接感じることで、舞台芸術への関心が高まり、豊かな心や感性が育まれます。音楽は多くの要素が組み合わさった芸術であり、オーケストラの演奏を五感で楽しみながら、自己表現や協力の重要性も学べます。 楽団員一同誠意と誇りを持って、次代を担う子どもたちに音楽の楽しさを届けるために全力で公演に取り組んでいます。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>1.学校との綿密なコミュニケーション これまでの楽団の経験を活かし、ワークショップ・本公演の日程に合わせて、適切なタイミングで学校と連絡を取り合います。メールや電話を通じて、学校側と常に意思疎通を図り、誤解やミスを防ぎます。また、ワークショップ・本公演の内容について綿密な打ち合わせを行い、学校の要望に応じたオリジナルの公演を実現します。</p> <p>2.学校側の要望を最大限に汲み取り、実現する ワークショップの際、楽団の担当者が学校の先生と綿密に打ち合わせを行い、学校や児童生徒にとって一生の思い出となる公演を目指します。児童生徒にとって価値ある体験となるよう、学校の要望を取り入れた最良の方法を考え、実現します。</p> <p>3.重要事項は必ず文書で伝達する 日程や進行に関わる重要な事項については、誤りが生じないように必ず文書にて連絡します。さらに、後日電話での確認を行い、確実な情報共有を図ります。</p> <p>4.公演当日に向けた分かりやすいマニュアルの作成 初めてオーケストラ公演を行う学校が多いため、準備すべき事項や当日に必要なもの、タイムスケジュールなどを分かりやすくまとめたマニュアルを制作します。これにより、先生方がすぐに確認でき、スムーズに公演が進行できるようサポートします。</p> <p>5.全生徒が楽しめる工夫を最大限取り入れる ひな壇を設置し、弦楽器と段差をつけることで、オーケストラ全体が見やすいように工夫しています。これにより、低い位置に座る子どもたちでも各楽器の形状を視認し、演奏者の表情や息遣い、各楽器の音色の違いをよりはっきりと感じ取ることができます。また、音響面でも迫力あるサウンドを実現し、子どもたちの心に残る公演にします。 さらに、楽器紹介コーナーでは、観客席の中央に通路を設け、子どもたちがより近くで楽器の音の違いを感じられるよう工夫しています。</p> <p>6.子どもたちとの積極的なコミュニケーション ワークショップや本公演において、子どもたちとのコミュニケーションを大切にしています。公演中には、「ボディパーカッションでの参加」や「指揮者体験コーナー」、「オーケストラ伴奏による校歌の合唱」など、子どもたちが積極的に参加できる工夫をしています。 また、学校到着時から離校時まで楽団員一人ひとりが積極的に挨拶し、子どもたちとの交流を深めています。さらに、空き時間には吹奏楽などの音楽系クラブに所属する生徒に対して、ワンポイントレッスンを実施し、直接指導する機会を設けることで、音楽に対する興味や技術向上をサポートしています。</p> <p>7.公演当日のリハーサル 公演当日には必ずリハーサルの時間を設けています。共演曲の練習や指揮者体験コーナーの流れを事前に確認することで、入場から演奏、退場までの一連の流れを子どもたちに体験してもらい、本番に向けてしっかりと準備を整えます。</p>

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名 関西フィルハーモニー管弦楽団】
項目本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付内容	<p>今回のプログラムでは、音楽の多様性と楽しさを子どもたちに伝えるために、以下の楽曲を選びました。それぞれが持つ文化的背景や音楽的特徴を通じて、世界中の音楽の魅力を感じてもらいたいという意図があります。</p> <p>【オーケストラでめぐる世界一周！音楽で万国博覧会♪】</p> <p>ビゼー：歌劇「カルメン」第1組曲より「闘牛士」 ～スペイン～ スペインの情熱とエネルギーを象徴する「闘牛士」は、異国情緒あふれるリズムが特徴です。この曲を通じて、スペインの独特な音楽文化に触れます。</p> <p>芥川也寸志：弦楽のための三楽章(トリプティック)より「第1楽章」 ～日本～ 日本を代表する作曲家、芥川也寸志の作品は、現代日本の音楽文化を象徴しています。特にこの楽章は、独特な和の要素とモダンな響きが融合し、日本の音楽の魅力子どもたちに伝えることができます。</p> <p>J.ウィリアムズ：映画「スターウォーズ」より「ダース・ベイダーのテーマ」 ～アメリカ～ 映画音楽の巨匠、ジョン・ウィリアムズによるこの曲は、子どもたちにとって親しみやすく、迫力のあるオーケストラサウンドを楽しんでもらうために選びました。映画音楽もクラシック音楽の一部として感じてもらう狙いがあります。</p> <p>ドビュッシー：「子供の領分」より「ゴリウオーグのケーキウォーク」 ～フランス～ ドビュッシーの遊び心あふれるこの曲は、軽快で楽しいリズムが特徴です。子どもたちが楽しんで聴ける作品で、フランス音楽のエレガントさを体験してもらいます。</p> <p>チャイコフスキー：バレエ音楽「くるみ割り人形」より「花のワルツ」 ～ロシア～ 美しい旋律と華やかなオーケストレーションで知られるこの曲は、ロシアの豊かな音楽文化を象徴し、オーケストラの魅力存分に味わえる楽曲です。</p> <p>-----休憩15分-----</p> <p>ベートーヴェン：交響曲第5番ハ短調より「第1楽章」 ～ドイツ～ 古典派音楽の巨匠ベートーヴェンの代表作は、誰もが知る有名な旋律で、クラシック音楽の力強さを感じてもらうために選びました。</p> <p>モーツァルト：トルコ行進曲(小学生向け/ボディーパーカッションで共演！) ～オーストリア～ 子どもたちが参加できるこの楽曲は、モーツァルトの軽やかさとユーモアが溢れる一曲。ボディーパーカッションを通じて、音楽に体で参加しながら楽しむことができます。</p> <p>ブラームス：ハンガリー舞曲第5番(中学生向け/指揮者体験コーナー！) ～ハンガリー～ ブラームスの「ハンガリー舞曲第5番」を題材に、中学生が指揮者となってオーケストラを指揮します。テンポや強弱を自分で指示し、オーケストラとの協調を体験することで、指揮者の役割や音楽の作り方を学びます。</p> <p>外山雄三：管弦楽のためのラプソディ ～日本～ 日本の伝統的な音楽と西洋音楽を融合させたこの曲は、日本の文化を感じると同時に、オーケストラの壮大さを体感できる作品です。</p> <p>校歌 自分たちの身近な音楽である校歌を取り入れることで、音楽の身近さと繋がりを感じてもらいます。</p> <p>アンコール/J.シュトラウスⅠ世：ラデツキー行進曲 ～オーストリア～ 最後は「ラデツキー行進曲」で、手拍子を通じて会場全体が一体となり、楽しく盛り上がるフィナーレを迎えます。</p> <p>このように、多様な国や文化の音楽を通じて、世界中の音楽の素晴らしさを子どもたちに感じてもらうことが、このプログラムの大きな目的です。</p>	